

令和2年度

事業報告書

松風の里

目次

1. 寄附	1
2. 施設入所支援	2
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用者の動向	3
2-3 利用実績	4
3. 生活介護	4
3-1 通所利用者の状況	4
3-2 利用実績	5
3-3 日中活動	5
3-4 保健衛生	7
3-5 行事	9
3-6 外出	9
3-7 自治会活動	10
4. 短期入所・日中一時支援	11
4-1 短期入所	11
4-1-① 利用者の状況	11
4-1-② 利用実績	12
4-2 日中一時支援	12
4-2-① 利用者の状況	12
4-2-② 利用実績	13
5. 給食	13
6. 防災・防犯	16
6-1 災害防護訓練	16
6-2 防犯対策	16
7. 職員の配置状況	16
8. 職員研修	17
9. ボランティアの受け入れ	18
10. 視察・研修・慰問の受け入れ	18
11. 実習の受け入れ	19
12. 保護者会活動	19
13. 相談支援	20
14. 苦情相談	20
15. 事業計画に対する評価	25

令和2年度 事業報告

創立25年を迎えた令和2年度の松風の里は、法人内の計画相談支援事業を元気館に集約することによって、6月末に計画相談支援事業を廃止し、7月以降は施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援事業、共同生活援助の5事業を展開した。

施設入所支援、生活介護の障害者支援施設においては、12名の65歳を超える利用者をはじめとした高齢化と、25名の重度障害者支援加算(Ⅱ)の対象者を中心とした重度化に対し、継続してサービス等利用計画および個別支援計画を根拠に工夫しながら支援した。しかし、認知症の進行や身体機能の低下については、現存の設備或いは環境では対応が困難になっているが、本人に適した生活への移行およびその準備は保護者の理解を得ることが難しいこともあり進んでいない。

前年度末から世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症により生活様式の変革、イベントや地域との交流の縮小により、利用者の生活は大きく影響を受けた。視覚支援を駆使しながら繰り返し説明し、利用者自身もそれを受け入れ順応した。職員は知恵を絞り、利用者の希望を取り入れながら可能な範囲で利用者の生活に潤いを持たせるよう工夫した。

新型コロナウイルス感染症予防対策を契機に、日々の業務においても標準的予防策を念頭に置き、より衛生的かつ適切な環境づくりを目指すとともに、支援のあり方も検討した。

地域生活を支える事業である生活介護(通所利用)、短期入所、日中一時支援においては関係機関と連携し、利用者を受け入れた。特に短期入所については、2件の緊急事例を含む代替のきかない利用を受け入れ、セーフティネットの役割を果たした。一方、新型コロナウイルス感染症感染防止の目的による6回の警戒態勢発動下、一時的に利用受け入れをお断りし、地域生活を営む障害者の円滑な生活に支障を来した。

以下、令和2年度の事業を報告する。

1. 寄附

①寄附金

年月日	寄付者	金額
令和2年12月11日	今井 勇 様	500,000円
計	1件	500,000円

②寄附物品

年月日	寄付者	金額
令和3年 2月 5日	柏崎信用金庫 様 (空気清浄機 1台)	92,950円
計	1件	92,950円

2. 施設入所支援

2-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

①出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	長岡市	計（名）
男性	25		2	27
女性	18	2		20
計	43	2	2	47

②年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計（名）
男性					1	6	13	2	1		4	27
女性		1			2	2	5	1	1		8	20
計		1			3	8	18	3	2		12	47
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	81歳06か月			39歳01か月			50歳01か月			52歳01か月		
女性	74歳03か月			23歳10か月			54歳07か月					

③障害支援区分別人数

平均 5.47

区分	1	2	3	4	5	6	計（名）
男性					9	18	27
女性				4	8	8	20
計				4	17	26	47

④療育手帳所持者

種類	A	B	計（名）
男性	24	3	27
女性	16	4	20
計	40	7	47

⑤身体障害の状況（身体障害者手帳所持者）

症状	聴覚	言語	肢体不自由			計（名）
			上肢	下肢	体幹	
男性		1	2	3	2	8
女性	1	1	3	4	1	10
計	1	2	5	7	3	18

⑥てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症 スペクトラム	統合失調症	双極性障害	計（名）
男性	12	13		2	27
女性	7	4	2		13
計	19	17	2	2	40

⑦成年後見制度利用者数

	親族後見	第三者後見	計
男性	2	4	6
女性	1	2	3
計	3	6	9

⑧介護保険関係

	特養等待機者	要介護区分認定者
男性	1	1
女性	3	3
計	4	4

2-2 利用者の動向

退所 令和2年8月25日 64歳男性（入院加療先の柏崎総合医療センターで死亡）

2-3 利用実績

定員(人)		実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数 (人・日)	延べ利用者数 (人・日)	利用率	平均利用者数 (人/日)
50		48	365	18,250	14,997	82.2%	41.1
昨年度	50	48	366	18,300	16,504	90.2%	45.1

3. 生活介護

新規の契約はなかった。57名からご利用いただいた。

3-1 通所利用者の状況（令和3年3月31日現在）

①出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	計(名)
男性	4		1	5
女性	2			2
計	6		1	7

②年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計(名)
男性		2	1	1			1					5
女性			1								1	2
計		2	2	1			1				1	7
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	46歳06か月			23歳05か月			30歳05か月			35歳05か月		
女性	69歳05か月			26歳09か月			48歳01か月					

③障害支援区分別人数

平均4.6

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性				2		3	5
女性			1	1			2
計			1	3		3	7

④療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	4	1	5
女性	1	1	2
計	5	2	7

⑤身体障害の症状別状況

手帳所持者の利用なし。

⑥てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症 スペクトラム	統合失調症	双極性障害	計(名)
男性	2	4			6
女性					
計	2	4			6

3-2 利用実績 (年間)

定員 (人)	実人員 (人)	年間営業日 (日)	利用可能者数 (人・日)	延べ利用者数 (人・日)	利用率 (%)	平均利用者数 (人/日)	
50	57	269	13,500	11,789	87.3%	43.8	
昨年度	50	57	270	13,500	13,151	97.4%	48.7

3-3 日中活動

個々に意思表示された希望される活動内容の提供に努めるとともに、加齢に合わせたプログラムの拡充を図った。

運動班および創作班において、在籍はどちらか一方と限定したが、参加については、利用者の希望やニーズにより臨機応変に対応した。

①運動班(男性12名、女性7)名、計19名)

歩行時には安全確保や体調の留意に努めた。各々の必要とする運動量の確保を目標に有効的に時間配分した。利用者の状況に応じて職員配置および活動内容に配慮した。

②創作班〈男性15名、女性13名、計28名〉

利用者個々の独創的な作品作りについて継続して支援する傍ら、施設内を彩る装飾を目指した計画的な作品作りも支援した。季節を感じられる装飾は人の目に触れる機会も多く、それがさらなる制作意欲の向上につながった。

③ゆったり班

高年期或いは身体機能の低下が懸念される利用者を主な対象として月1～4回活動した。楽しく身体を動かし、効果的な刺激を受けることのできる内容で実施した。また利用者からも希望を募り活動内容に反映した。毎回15名前後の利用者が参加している。

④手づくりおやつ会

主に女性利用者の調理のニーズに応え、参加者から希望メニューを募り、機会を提供した。調理後は会食し楽しんだ。管理栄養士と支援課職員が連携して支援した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
参加者	7	8	8	8	9	9		9	9	7	8	9	91

☆ハートフルデイ

月	イベント内容等
4	午前；風船バレー 午後；ひらひらキャッチ・歌
5	午前；ふわふわバレーボール 午後；カラオケ
6	午後；紙芝居
7	午前；なんちゃってスイカ割りゲーム 午後；紙芝居
8	終日；制作（松風花火）
9	午前；太極拳・タオル体操 午後；ボール遊び
10	終日；秋祭り
11	終日；制作（クリスマスツリー）
12	午前；カラオケ 午後；パン食い競争
1	午前；ラジオ体操・カローリング 午後；カラオケ大会
2	午前；制作（お雛様飾り） 午後；紙芝居
3	午前；玉入れ・綱引き・ペットボトルボウリング 午後；クイズ・手遊び・歌

3-4 保健衛生

①検診

年 月 日	項 目	人数	内容 (対象者)
令和2.6.12	乳がん検診	4	40歳以上女性
6.26	前立腺がん検診	11	50歳以上男性
7.6	健康診断	22	HBs抗原45名
7.9		25	HBs抗体 6名
7.29	大腸がん検診	30	40歳以上
8.11	子宮がん検診	4	40歳以上女性
10.30	歯科検診	45	
11.5	インフルエンザ予防接種・内科検診	25	
11.19		22	

②入院

利用者	年齢	医療機関	症状	期間	日数
女性A	71	柏崎総合医療センター	左乳腺腫瘍	4.8～4.20	13
男性B	64	柏崎総合医療センター	肺炎	5.25～8.25	95
女性C	42	柏崎総合医療センター	左大腿骨骨頭骨折	8.31～9.14	15
男性D	45	柏崎総合医療センター	左精巣腫瘍	10.1～10.4	4
男性E	49	新潟病院	てんかん	10.12～10.26	15
男性F	81	柏崎総合医療センター	低ナトリウム血症	2.8～2.22	15

③通院

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(名)	
精神	男	13	9	12	15	6	14	12	13	6	15	7	11	133	248
	女	15	8	9	10	7	9	10	9	7	13	8	10	115	
内科	男	5	3	2	5	3		5	2	1	3	7	6	42	102
	女	4	4	7	9	2	3	6	5	4	6	4	6	60	
外科	男	2							3				1	1	10
	女	1	2	1			1			1			3	9	
整形	男	1		1	1		3	4		1			1	12	34
	女	2			2	4	4	2	1	4			3	22	
脳外	男	1												1	2
	女											1		1	
歯科	男	2		1	4	2	4	2	7	7	8	3	3	43	72
	女	2		1	2	2	6	4	4	6	1		1	29	
眼科	男														3
	女				1		1			1				3	
耳鼻科	男		1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	10	31
	女	1	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	21	
皮膚	男		1		4	2	1	3	3	2				16	38
	女			2	1	1	1	3	5	4	1	3	1	22	
婦人	男														7
	女			1			2	1		1	1	1		7	
泌尿	男						2	1	1				1	5	17
	女			1	3		1			2	1	1	3	12	
急外	男	2										1		3	3
	女														
循環	男														1
	女	1												1	
合計	男	26	14	17	30	13	25	28	30	18	27	19	24	266	568
	女	26	16	24	30	16	30	28	26	32	25	20	29	302	

☆小児科は精神科として計上した。

この集計に短期入所利用者は含んでいない。

3-5 行事

新型コロナウイルス感染症の影響で、園内行事について中止または実施形態を変更して実行した。地域の行事も軒並み中止となった。

園内行事

月	日	曜	行事	内容
6	15	月	松風えんま市	松風の里 体育室：お参り・くじ引き・輪投げ 食堂：屋台風メニュー（15、16日）
10	26	木	秋祭り	松風の里 体育室：ハロウィーン（お菓子のプレゼント）・くじ引き 食堂：クレープ移動販売（間食）
12	24	火	クリスマス・忘年会	松風の里 体育室：ボール運びゲーム・プレゼント贈呈 食堂：ランチパーティー、ケーキ会食
1	15	木	新年会	松風の里 体育室：初詣・獅子舞 食堂：ランチパーティー
2	3	木	節分	松風の里 体育室；豆まき 食堂；おやつ
3	3	木	ひな祭り	松風の里 体育室；メイクアップ

3-6 外出

十分な新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じることが困難であるため、多くの外出を自粛した。

① 休日外出

休日に利用者が職員と近隣の自動販売機まで歩いて行き缶ジュース等購入できるように支援した。

② 有償ボランティアによる外出

新型コロナウイルス感染症の影響で外部ボランティア受け入れの自粛ならびに外出の自粛により実施しなかった。

3-7 自治会活動

利用者一人一人が生活に意欲をもち、役割を務め協調することにより、充実感のある暮らしの実現をめざして自治会の活動を支援した。

「生活の支援」や「保健衛生」と連動して、3か月ごとの生活目標を掲げ、心身とも望ましい生活習慣の喚起に努めた。

毎月1回午前に自治会役員会を開催して、生活目標についての反省や発表、各係からの連絡、週番の情報交換、行事や食事に関する意見聴取等を行った。特に食事に関しては、管理栄養士も毎月自治会に参加し、利用者の希望、要望を把握し食事メニューに反映させた。利用者の意思表示および意思決定の過程を尊重した。

利用者の誕生日にはプレゼントと誕生カードを贈呈し、祝福した。

自治会役員の役割について2月の自治会役員会で見直しを行った。年度末の3月は選挙による次年度の役員選出を支援し、同月に総会を開催して役員の交代について承認を得た。

①組織

利用者の代表によって、運営される自治会役員会の組織は以下のとおりである。

役職	員数	役員	役割
会 長	1	女性A	利用者を代表する。 役員会の司会進行等を担当する。
副会長	1	男性B	会長を補佐する。 会長不在時の役員会の司会進行を担当する。
寮 長	各寮1	男性C 女性D	各寮を代表する。
食事係	1	女性E	献立表の記入を担当する。
清掃係	各寮1	男性F 女性G	月ごとの大掃除の連絡や用具の点検および補充を担当する。
連絡係	1	男性H	週番や生活目標、日課の発表（月曜日の全体朝会時）を担当する。
掲示係	1	女性I	行事の案内や連絡等の掲示や装飾を担当する。
週 番	各寮1		朝会の司会進行等を担当する。

②奉仕活動参加状況

新型コロナウイルス感染症の影響で、企画が中止され参加しなかった。

③選挙への投票

自治会等を活用して選挙告示の周知に努めた。意向を調査したが投票の希望はなかった。

4. 短期入所・日中一時支援

4-1 短期入所

新規に1名と契約を交わし、11名を受け入れた。今年度児童の利用はなかった。一昨年度虐待保護を目的として長期に受け入れたケースについては引き続き同じ頻度で受け入れを継続している。該当ケースについて利用における課題を関係機関と共有しているが、解決に至らない。介護者不在による緊急時の短期入所の受け入れを3件行ったが、早期の環境調整に至らず、長期化する傾向にある。

4-1-① 利用者の状況

(1) 出身市町村別人数

市町村	柏崎市		刈羽村		出雲崎町		計(名)
	児	者	児	者	児	者	
男性		4		1		1	6
女性		4				1	5
計		8		1		2	11

(2) 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計(名)
男性				2		1	1		2			6
女性		1	1	1				1	1			5
計	0	1	1	3		1	1	1	3			11
	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	55歳05か月			30歳02か月			43歳08か月			41歳05か月		
女性	59歳02か月			24歳05か月			38歳09か月					

(3) 障害支援区分別人数

平均3.5

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性		1	3	1	1		6
女性		1	1	2		1	5
計		2	4	3	1	1	11

(4) 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

手帳所持者の利用なし

(5) てんかんおよび精神障害の状況

症状	てんかん		自閉症スペクトラム		統合失調症		その他		計(名)
	児	者	児	者	児	者	児	者	
男性		3		3				1	7
女性		1		2					3
計		4		5				1	10

4-1-② 利用実績

(定員 児・者合わせて5名)

単位(名)

定員	実人員(人)			年間営業日 (日)	利用可能者 数 (人・日)	延べ利用者数(人・日)			利用率	平均利用者数(人/日)		
	児	者	計			児	者	計		児	者	計
5		11	11	366	1830		565	565	30.9%		1.5	1.5
昨年度	5	12	12	365	1825		576	576	31.6%		1.6	1.6

4-2 日中一時支援

新規に男性1名と契約を交わした。1名の児童を含む13名の利用を受け入れた。

4-2-① 利用者の状況

(1) 出身市町村別人数

市町村	柏崎市		刈羽村		出雲崎町		計(名)
	児	者	児	者	児	者	
男性	1	5					6
女性		6				1	7
計	1	11				1	13

(2) 年齢別人数および平均年齢

年齢	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~	計(名)
男性	1	1	1			1	1				1	6
女性		1	2	1			1	1			1	7
計	1	2	3	1		1	2	1			2	13
	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	69歳07か月			18歳10か月			38歳05か月			39歳02か月		
女性	69歳05か月			24歳05か月			39歳09か月					

(3) 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
男性		1	3			2	6
女性			1	4	1	1	7
計		1	4	4	1	3	13

(4) 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

手帳所持者の利用なし

(5) てんかんおよび精神障害の状況

症状	てんかん		自閉症スペクトラム		統合失調症		その他		計(名)
	児	者	児	者	児	者	児	者	
男性		1		5					6
女性		1		2					3
計		2		7					9

4-2-② 利用実績

(定員 児・者合わせて5名)

単位(名)

定員	実人員(人)			月間営業日 (日)	利用可能者 数 (人・日)	延べ利用者数(人・日)			利用率	平均利用者数(人/日)			
	児	者	計			児	者	計		児	者	計	
5	1	12	13	366	1830	83	274	357	19.5%	0.2	0.7	1.0	
前年度	5	2	11	13	365	1825	123	190	313	17.2%	0.3	0.5	0.9

5. 給食

利用者一人一人に栄養ケア計画書を作成し、栄養ケア計画書に沿った食事提供、食事支援に努めた。また、栄養状態のリスクに応じて、サービス管理責任者等の関係職種と定期的にモニタリングを行った。

①給与栄養量

栄養素 (単位)	エネルギー (Kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物 (g)		カルシウム (mg)
					食物繊維 (g)	
数値	1,952	70.7	55	283.6	18.3	554
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	レチノール活性当量 (μ g)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数値	8.4	607	1.1	1.08	107	10.9

②食品構成 (単位 ; g)

食品	穀類		いもおよび でんぷん類	砂糖および 甘味類	豆類	種実類
	米類	小麦類 (その他)				
数値	187.2	113.9	49.5	4.4	37.0	1.6
食品	野菜類		果実類	きのこ類	藻類	魚介類
	緑黄色野菜	その他野菜				
数値	129.7	227.8	87.7	27.3	1.4	55.4
食品	肉類	卵類	乳類	油脂類	菓子類	嗜好飲料類
数値	86.4	24.7	158.5	8	26.2	151.6
食品	調味料および 香辛料類	調味加工 食品類	※日本食品標準成分表2015年版(七訂) 登載に準 ずる			
数値	410.8	13.9				

③食事時間と形態

食 事	時 間	形 態
朝 食	8:00	1週間のうち4回パン食
昼 食	11:45	1週間のうち2回麺食
間 食	15:00	菓子、お茶
夕 食	18:00	米飯
夜のお茶	20:00	麦茶

④形態調整食と病態食

種 類	人 数
ミキサー食	1
刻み+トロミ食	6
刻み食	2
一口カット食	23
エネルギー制限食	4

⑥行事食（毎月のハートフルデイの昼食は、誕生月利用者の希望献立とした。）

月	行事	献立
4	ハートフルデイ	カツカレー、シンプルレタスサラダ、いちご
5	ハートフルデイ	ごはん、みそ汁、ハンバーグ、ハムサラダ、いちご
6	えんま市	お好み焼き、中華スープ、からあげ、サラダ、クレープ オムそば、わかめスープ、たこ焼き、チョコバナナ
	ハートフルデイ	カツ丼、みそ汁、ほうれん草わさび和え、メロン
7	開園記念日	お弁当
	ハートフルデイ	オムライス、オニオンスープ、ポテトサラダ、スイカ
8	ハートフルデイ	ごはん、カレースープ、ハンバーグ、サラダ、フライドポテト
9	ハートフルデイ	タレカツ丼、みそ汁、青梗菜和え物、ぶどう
	お楽しみランチ	栗ごはん、みそ汁、天ぷら盛り合わせ、厚揚げとぜんまいの煮物、抹茶プリン
10	秋祭り（ハートフルデイ）	醤油ラーメン、海鮮ちらし寿司、フライドポテト、たこ焼き、パイ
11	お楽しみランチ	コロッケパン、たまごサンド、ビーフシチュー、ひじきサラダ、プリン
	ハートフルデイ	ネギトロ丼、みそ汁、揚げ出し豆腐、柿
12	ハートフルデイ	ごはん、みそ汁、チキン南蛮、かぶの煮びたし、りんご
	クリスマス・忘年会	ケチャップライス、コンソメスープ、えびフライ、マカロニグラタン、グレープゼリー
1	新年会	鯛めし、雑煮、つくね、伊達巻き、黒豆、紅白なます、いちごパバロア
	ハートフルデイ	生姜醤油ラーメン、お好み焼き、りんご
2	節分	五目いなり、豚汁、里芋ごま風味煮、菜の花からし和え、抹茶プリン
	ハートフルデイ	ネギトロ丼、みそ汁、ちくわ土佐煮、オレンジ
3	ひな祭り	海鮮ちらし寿司、すまし汁、里芋と鶏肉の炒め煮、春菊ごま和え、ミニケーキ
	ハートフルデイ	オムライス、クラムチャウダー、フレッシュサラダ、フライドポテト

6. 防災・防犯

6-1 災害防護訓練

訓練形態	回数
火災時の避難訓練 (日中活動時 3、休日体制下 1、積雪状況下 1)	5
夜間を想定した火災時の避難訓練	3
地震後、津波を想定した避難訓練 ※地震後に火災発生を想定	1
地震時における避難訓練(夜間を想定) ※地震後に火災発生を想定	1
近隣施設「松波の里」「さざなみ学園」との連携による火災時の避難・救助訓練	1
原子力災害時における避難訓練(フィルタリングシステム作動、防護服着用訓練)	3
計	14

6-2 防犯対策

平成大橋交番に近隣パトロールを依頼した。防犯対策マニュアルの見直しを行った。

7. 職員の配置状況(令和2年3月31日現在)

職種	員数	区分				備考
		常勤		非常勤		
		専従	兼務	専従	兼務	
園長	1		1			社会福祉士
サービス管理責任者	1	1				社会福祉士
支援員	21	14	3	4		社会福祉士2名
医師(嘱託)	3				3	内科、精神科、歯科
看護師	2	1		1		正看護師
栄養士	1	1				管理栄養士
事務員	2		2			
清掃員	1			1		

職員の動向

令和2年 4月 1日付で、主任支援員1名が松波の里から、支援員1名が元気館障害者デイサービスセンターから、支援員1名がにしやまの里から、臨時支援員1名がさざなみ学園から異動した。臨時支援員1名、パート支援員1名を採用した。

同 2年 4月14日付で、臨時支援員1名を採用。

同 4月30日付で、支援員1名、臨時支援員1名が退職。

同 8月 1日付で、臨時支援員1名を採用。

同 11月30日付で、パート看護師1名が退職。

令和3年 1月31日付で、臨時支援員1名が退職。

8. 職員研修

1. 内部研修

① 法人内事業所研修

年月日	場所	講師	内容
令和3 3月 2日	さざなみ学園	山川歯科医院 山川 尚人 様 歯科衛生士 船岡 陽子 様	口腔ケア研修

② 施設研修

年月日	内容
令和2年 4月 ～令和3年 3月	利用者の事故、ヒヤリハット報告（リスク分析）、事例検討、施設外研修報告、感染症マニュアル模擬実践

2. 外部研修

年 月 日	内容 〈会場〉	参加者
令和2 9. 9	圏域別研修会 自閉症スペクトラム障害の理解と対応 〈長岡地域振興局〉	1
10. 7 ～8	新潟県福祉保健部障害福祉課 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修） 〈上越地域振興局〉	1
10.23	新潟県コロニーにいがた白岩の里 新潟県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修 〈燕三条地場産業振興センターメッセピア〉	1
11.26	新潟県社会福祉協議会 新人・後輩職員の育成・指導研修 〈オンライン〉	1
12. 1	新潟県社会福祉協議会 接遇研修【リーダーコース】 〈オンライン〉	1

年 月 日	内容 (会場)	参加者
12.14	新潟県社会福祉協議会 社会福祉職員スタートアップ研修 (オンライン)	1
12.14	厚生労働省社会・援護局保健福祉部 「障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所等における感染症対策力向上支援業務」における研修会 (オンライン)	1
12.18	全体研修会 正しく理解し正しく実践！～現場で活かせるCOVID-19対応 (オンライン)	1
令和3 2. 1	国立のぞみの園セミナー2020 認知症を発症した知的障害者への支援について考える (オンライン)	1
3. 2	損害保険ジャパン 福祉施設における感染症BCPセミナー (オンライン)	1

3. 柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会への職員派遣

年 月 日	内容	派遣職員
令和2.11～令和3.1	緊急受入に伴う課題検討プロジェクトII	1
計		1名

9. ボランティアの受け入れ

名称	人数	回数	内容
洗濯物整理ボランティア	86	86	洗濯物整理
計	86	86	

10. 視察・研修・慰問の受け入れ

今年度受け入れはなかった。

1 1. 実習の受け入れ

期間	日数	学校・学年・性別	種類	人数
令和2 9.28～10.9	12	長岡こども・医療・介護専門学校 こども医療保育科 1年（男性）	保育実習	1
令和3 1.12～1.26	10	新潟こども医療専門学校 こども学科 2年（女性）	保育実習	1
2.22～3.10	10	日本こども福祉専門学校 こども保育学科 2年（女性）	保育実習	1
計		3件		3

1 2. 保護者会活動

①専門部

施設運営に協力するため、保護者会を構成する四専門部会が、活動を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できないことがあった。

専門部	部員数	活動内容
研修部	8	松波の里保護者会との合同研修を中止
広報部	5	年2回の広報「かがやき」の発行（9月・3月）
行事部	16	秋祭り中止のため、予定の中止
菜園部	15	秋祭りでの販売を予定した野菜の耕作

②環境整備活動

新型コロナウイルス感染防止のため事務局職員が園内外の環境整備活動を行った。

〈活動状況〉

5月31日 職員2名 雨どい掃除、簾設置、ガラス拭き
10月10日 職員3名 簾撤去、除草、

③松風さぼーたー

保護者有志によるボランティア組織「松風の里友の会」2名が、利用者と協働する午前中の洗濯物整理の応援を「松風さぼーたー」と呼び、以下の活動を展開した。

〈内容〉

- a. 人数 14名
- b. 時間 9:00から昼食前まで
- c. 活動 洗濯物の整理、衣類の修繕等

〈参加状況〉

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
参加者	8		6	9	1	8	9	9	9	7	12	8	86

1 3. 相談支援

法人内の計画相談支援事業を元気館に集約したため、当園の事業は6月末に廃業した。遺漏なく引継ぎを行った。

月	4	5	6	計(名)
計画相談			1	1
モニタリング	3	1	37	41

1 4. 苦情相談

法人が定める「社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニーの提供する福祉サービスにかかる苦情解決体制整備等に関する規程」により、苦情解決の責任体制を明らかにし、相談に関する環境を整備した。今年度は苦情の申し立てはなかった。今後も利用者をはじめ関係者の意見を傾聴し、真摯に対応する。

1 5. 事業計画等に対する評価

①新型コロナウイルス感染症の影響による計画の変更

新型コロナウイルス感染症について、感染予防策を講じながら、環境調整を行った。しかし、政府が発した緊急事態宣言、圏域内に患者が発生した場合の6度の法人独自の警戒態勢の発動により、年度当初の予定を大きく変更した。中止をした行事があった一方、職員が利用者の希望を聴取し、代替もしくは新規の行事やイベントを企画・運営した。好評であった企画については次年度も継続して実施するよう検討する。

②健康面への配慮

新型コロナウイルス感染症対策によりさらに手洗い支援に対する意識が向上した。また、前年度末よりパート支援員の雇用による日中における支援者の増加により、口腔ケアも充実させることができた。その他の環境整備もあってか、感冒や感染症による内科受診が減少した。今後も感染症対策を含め健康面に配慮する。

③視覚支援と利用者の生活様式の変容

視覚支援を生活多くの場面で継続した。必要性を繰り返し伝え、視覚に訴えながら支援した食事前の手洗いはおおむね定着した。また、余暇時の居室利用も進み、密集が解消された。警戒態勢発動時における玄関の施錠並びにパーテーションによる目隠しにより、管理棟を訪れる利用者が大幅に減少した。食堂に設置したパーテーションは感染症対策にとどまらず、自他の食事の区別や衛生面でも効果を発揮した。

④地域生活を営む利用者への配慮

短期入所、生活介護ならびに日中一時支援において、政府が発した緊急事態宣言、6回の法人独自の警戒態勢発動により、受け入れをお断りすることがあった。特に年々問い合わせや緊急時の受け入れの要請が多くなっている短期入所については、安全面に最大限配慮しながら該当事業を継続していく必要

があり、令和3年度よりはじまる地域生活支援拠点等事業における当園の役割を果たすうえでも優先して検討すべき課題である。

バックアップするグループホームにおいて、強風による停電、大雪により支援者を派遣できない事態があり、当園で宿泊していただき安全を確保した。

⑤関係機関との連携

7月より法人内の計画相談支援事業が元気館障害者デイサービスセンターに集約された。保護者との橋渡しをしつつ、遺漏のないよう引継ぎを行った。また、入院を契機に変化が見込まれる利用者については備えをしていただけるよう早急に情報共有した。

一方新型コロナウイルス感染症感染予防のため、モニタリングの多くが聞き取り中心となり、利用者の最適な生活に関する計画的な話し合いが十分に行えないことがあり、将来予想される事態への備えを始めることができなかった。

